

2023年6月期

決算説明資料

前田工織株式会社

東証プライム:7821

目次

1. 2023年6月期決算の概要	3
2. セグメント別決算概要	12
3. 2024年6月期 業績予想	17
4. MDKグループ中長期ビジョン グローバルビジョン∞ -PART I -	23
5. 会社概要	29



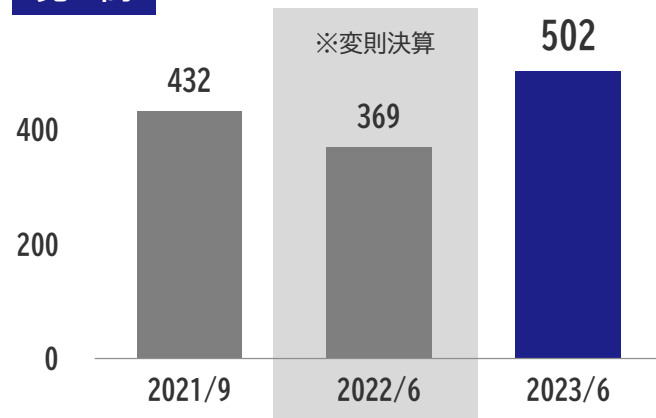
1 2023年6月期 決算の概要

決算ハイライト

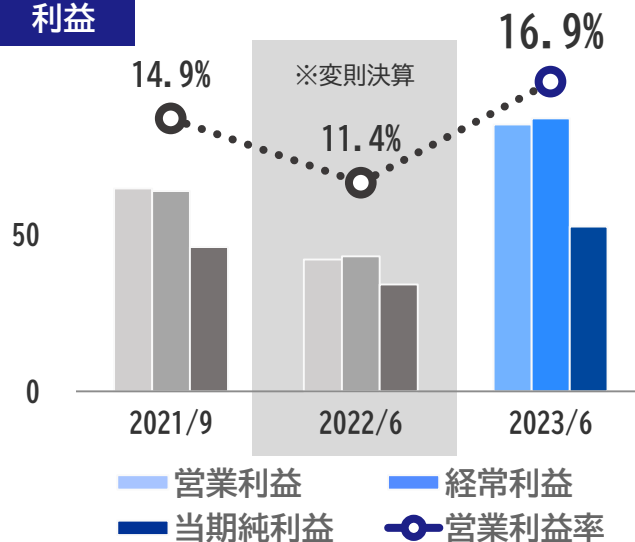
- 2023年6月期は12か月決算に戻り、通期業績目標を達成し、**過去最高の業績**となった。
- 全社的に、原材料価格や電気料金の高騰に対応した**「販売価格への転嫁」**、**「製造原価の削減効果」**により**粗利が回復**した。
- モノづくり企業として、国内外の工場において**積極的に設備投資**を行った。

連結決算サマリ

売上高



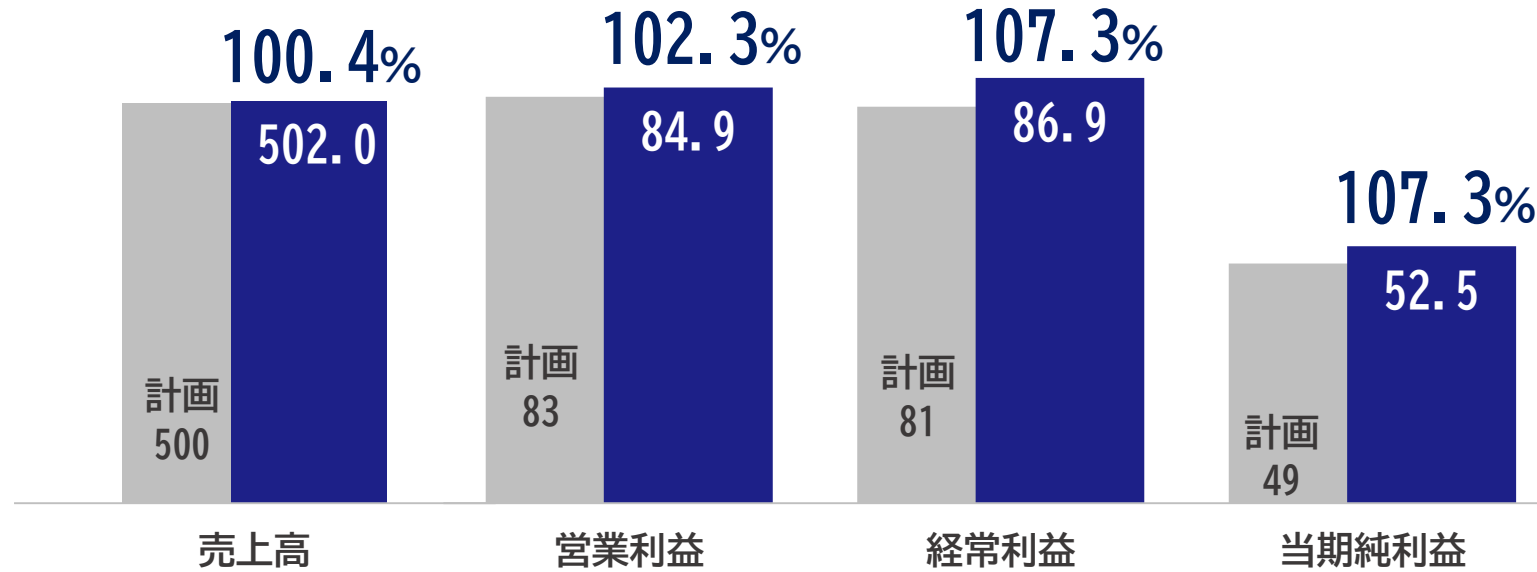
利益



(単位:億円)

	2021年9月期	2022年6月期*	2023年6月期	
	実績	実績	実績	売上比
売上高	432	369	502	—
営業利益	64	42	84	16.9%
E B I T D A	96	70	116	23.3%
減価償却費	31	27	31	6.4%
経常利益	63	43	86	17.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	45	34	52	10.5%

計画と実績値との比較



2023年6月期	通期実績	通期計画	通期達成率
売上高	502	500	100.4 %
営業利益	84	83	102.3 %
E B I T D A	116	113	103.4 %
経常利益	86	81	107.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	52	49	107.3 %



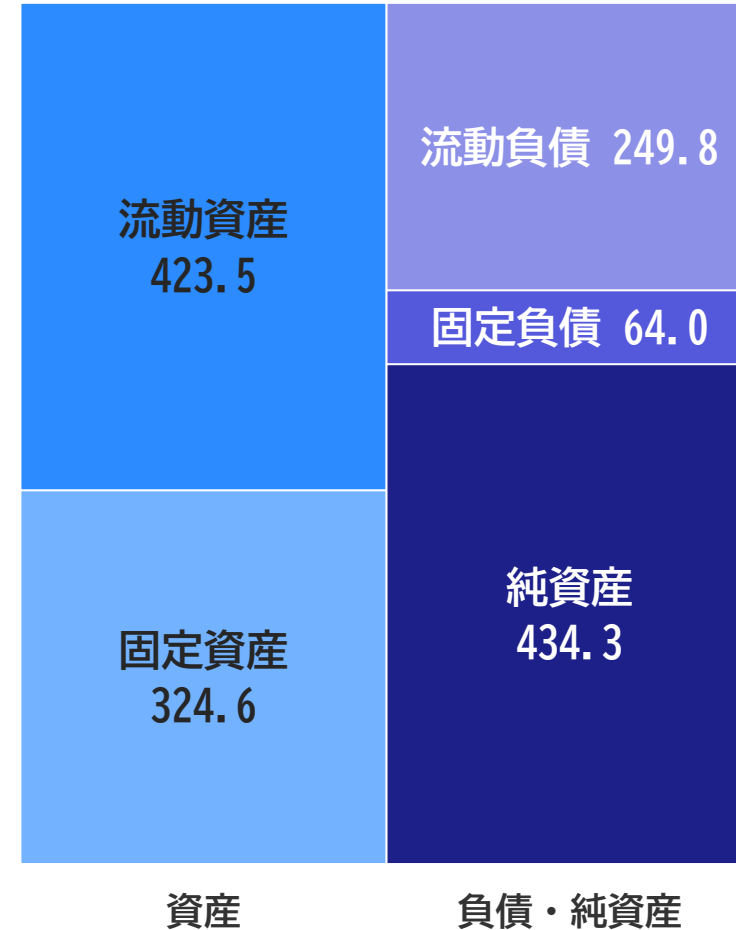
※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額
 ※2023年5月12日付で2023年6月期の通期業績予想を変更しております。

財政状態

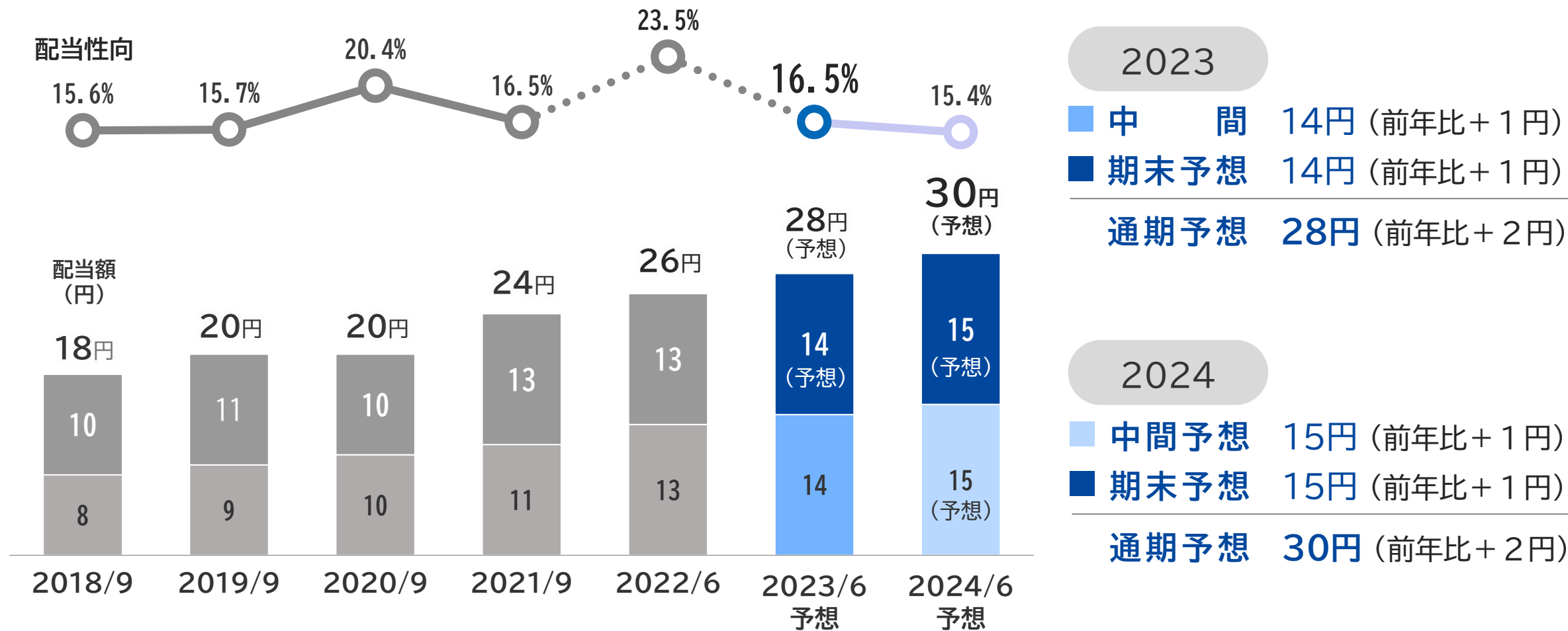
2022/6 期末 総資産 **687.6**億円



2023/6 期末 総資産 **748.2**億円

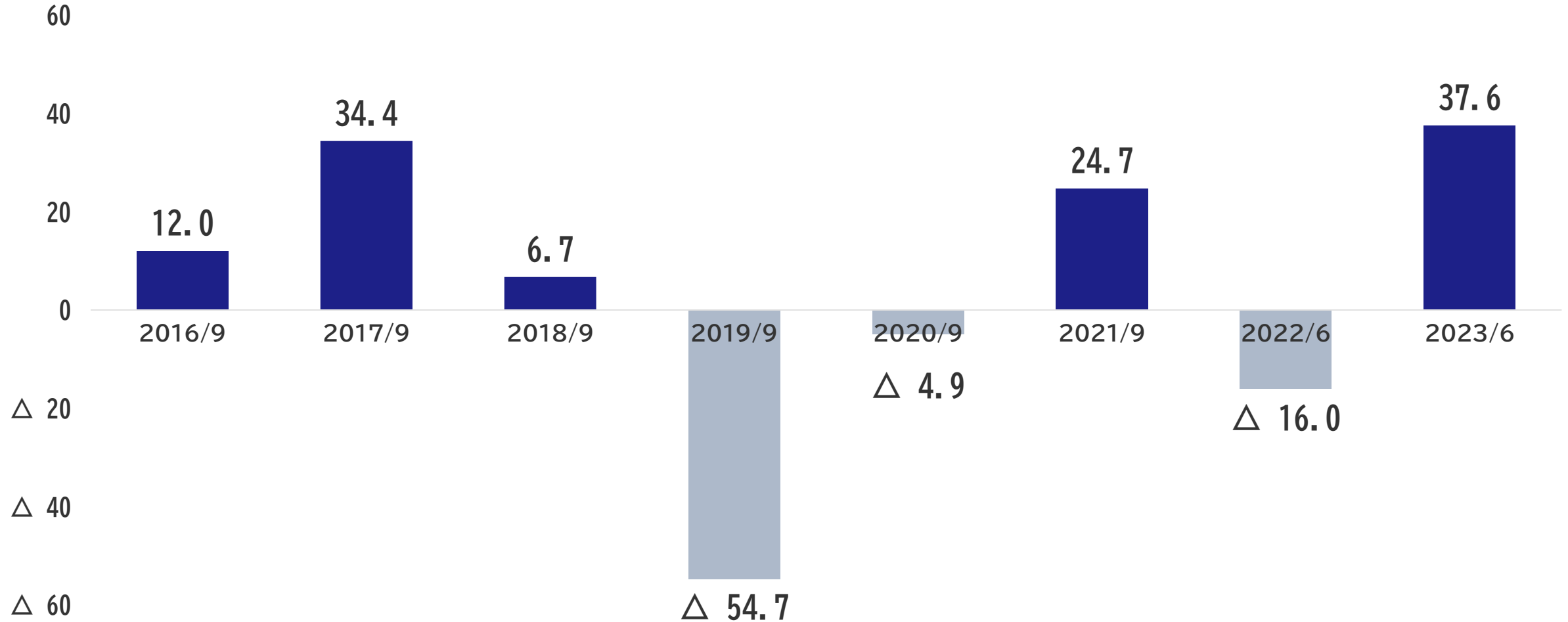


株主還元策(配当)



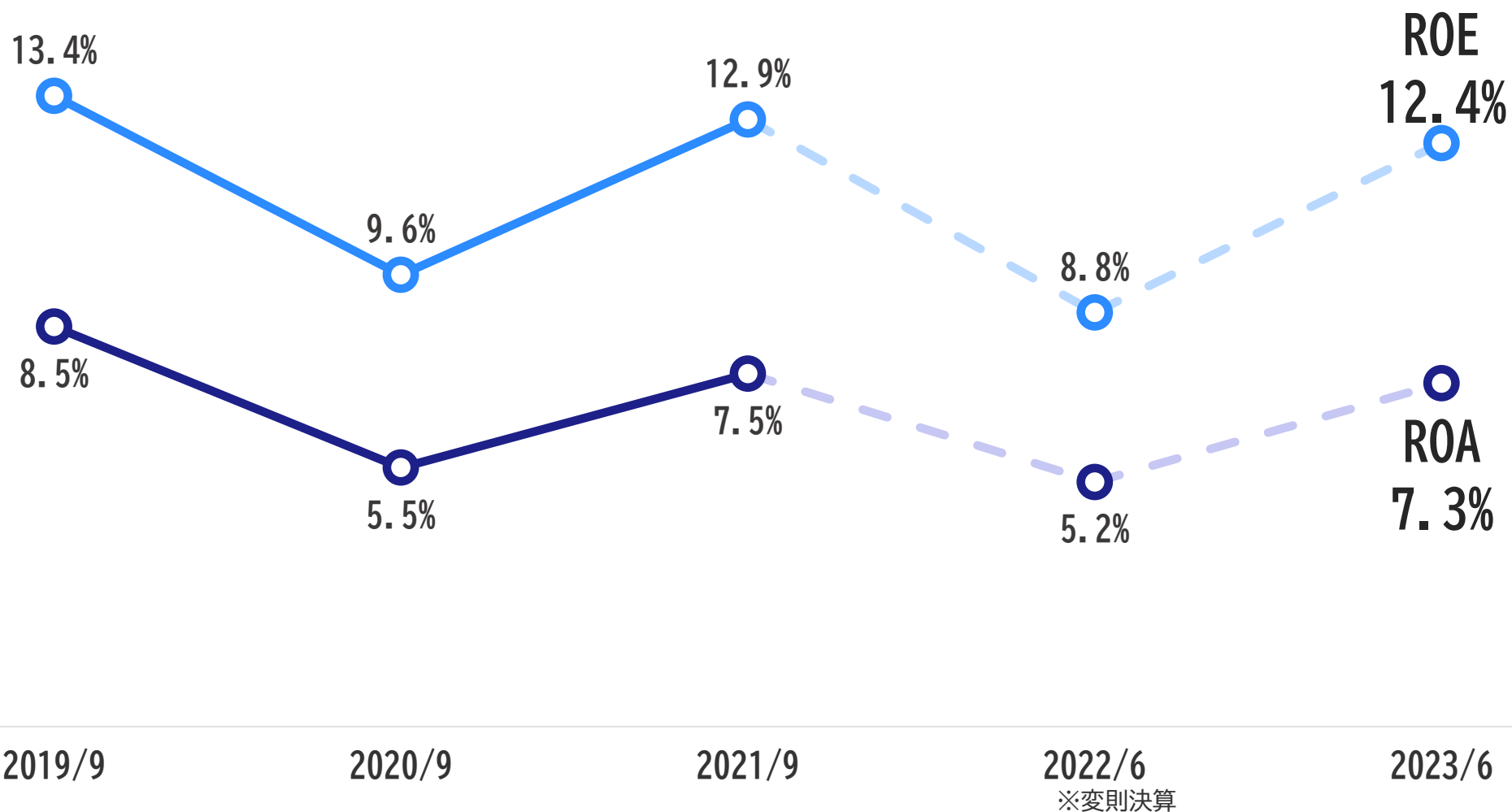
※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

経営指標 – フリーキャッシュフロー(FCF)推移

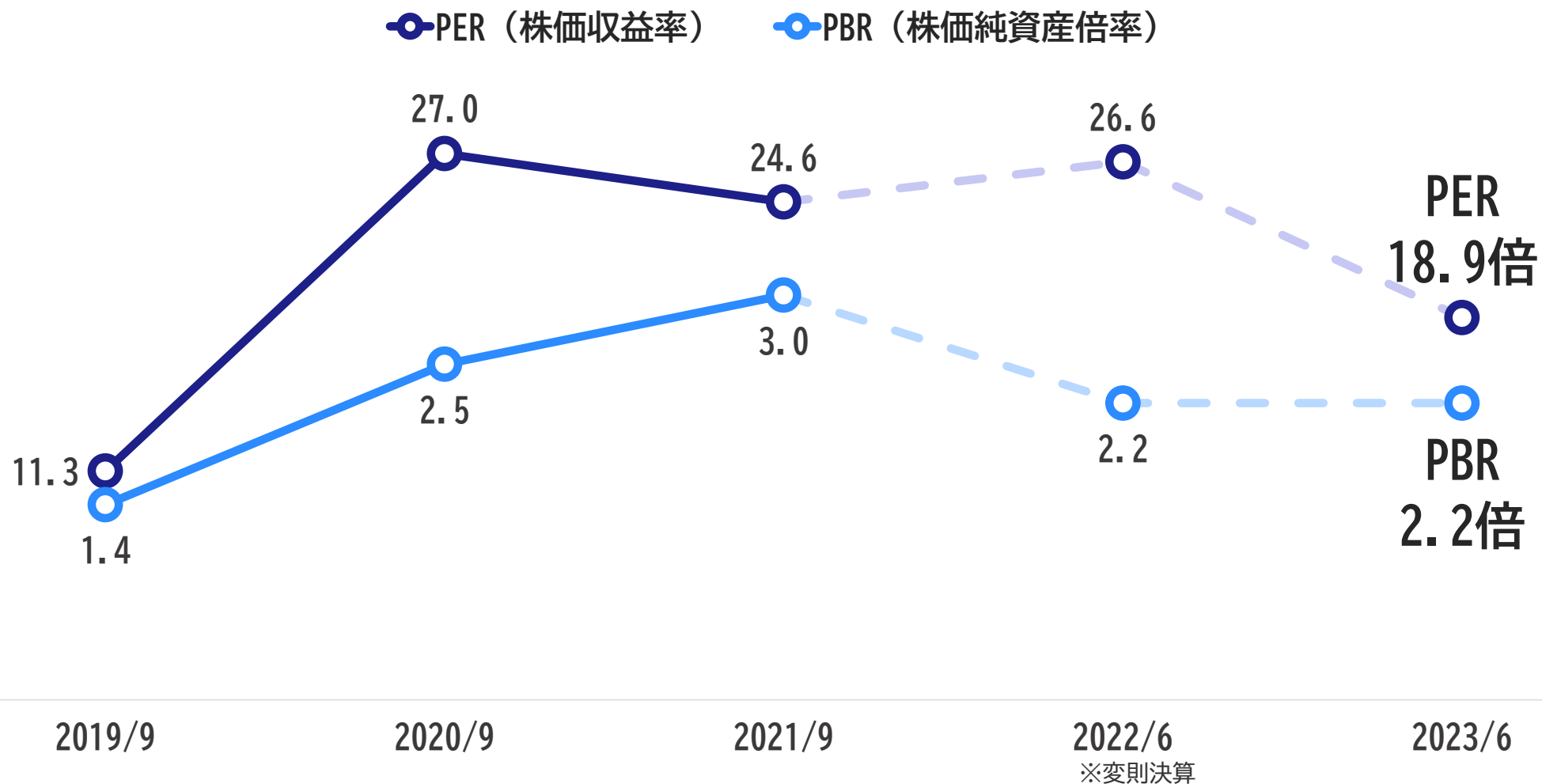


※フリーキャッシュフロー=営業活動によるキャッシュ・フロー-投資活動によるキャッシュ・フロー
※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

経営指標 – ROE・ROA推移



経営指標 – PER・PBR推移





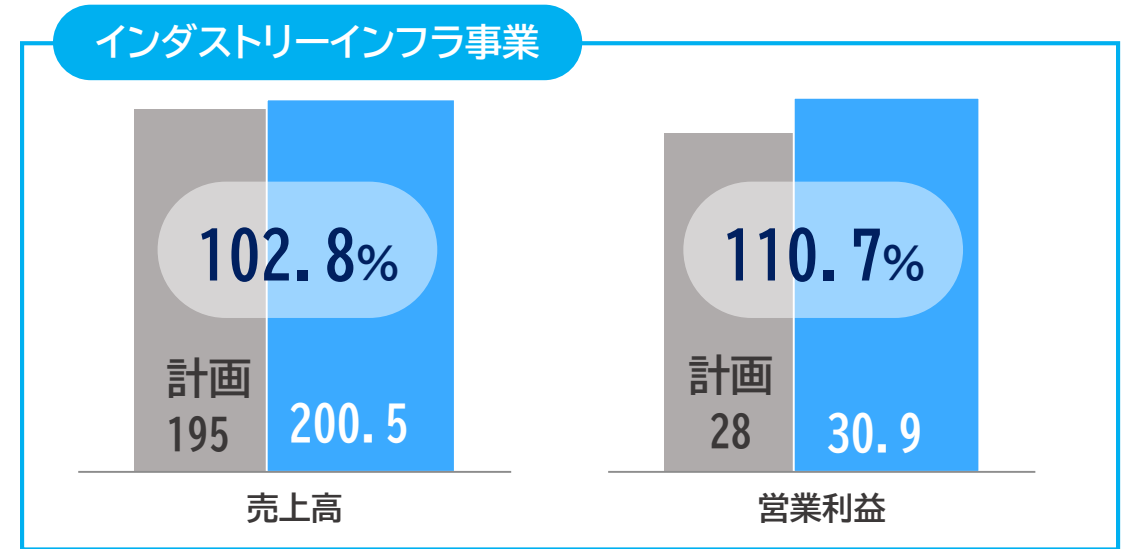
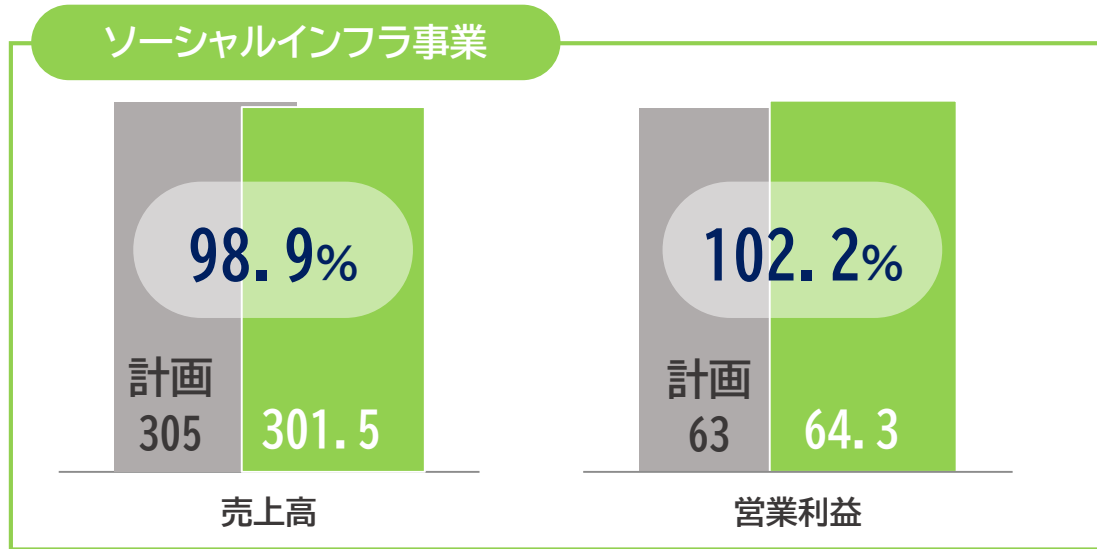
2

セグメント別決算概要

セグメント別決算概要

		2021年9月期 実績	2022年6月期※ 実績	2023年6月期 実績
ソーシャル インフラ事業	売上高	277	226	301
	営業利益	59	40	64
インダストリー インフラ事業	売上高	154	142	200
	営業利益	18	10	30
ヒューマン インフラ事業	売上高	—	—	—
	営業損失(△)	△ 4	△ 1	—
全社・消去	営業利益	△ 9	△ 7	△10
合 計	売上高	432	369	502
	営業利益	64	42	84

セグメント別計画に対する達成率

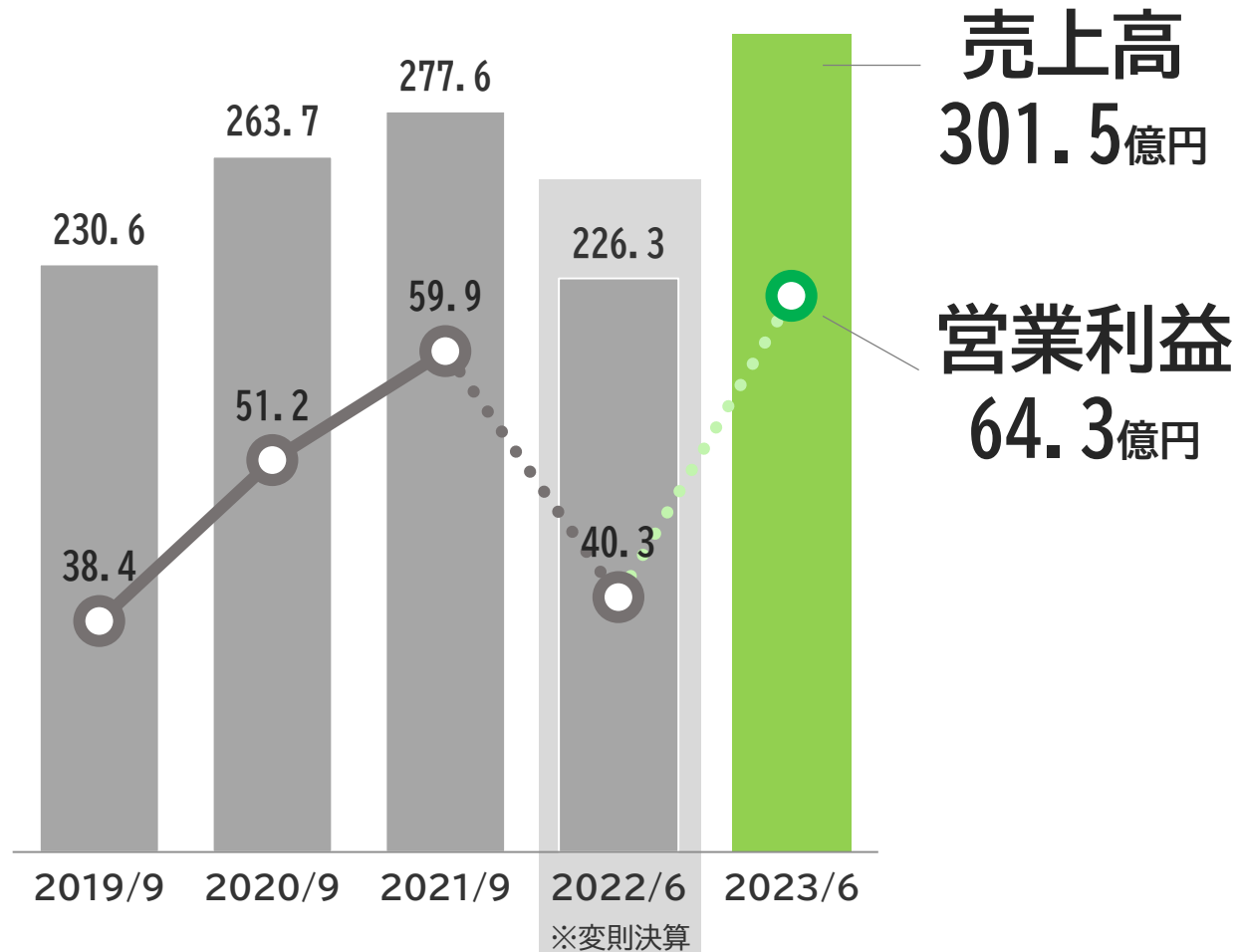


2023年6月期	売上高			営業利益		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
ソーシャルインフラ事業	305.0	301.5	98.9 %	63.0	64.3	102.2 %
インダストリーインフラ事業	195.0	200.5	102.8 %	28.0	30.9	110.7 %
全社・消去	—	—	—	△ 8.0	△10.4	—
合計	500.0	502.0	100.4 %	83.0	84.9	102.3 %



※2023年5月12日付で2023年6月期の通期業績予想を変更しております。

セグメント別業績概況－ソーシャルインフラ事業



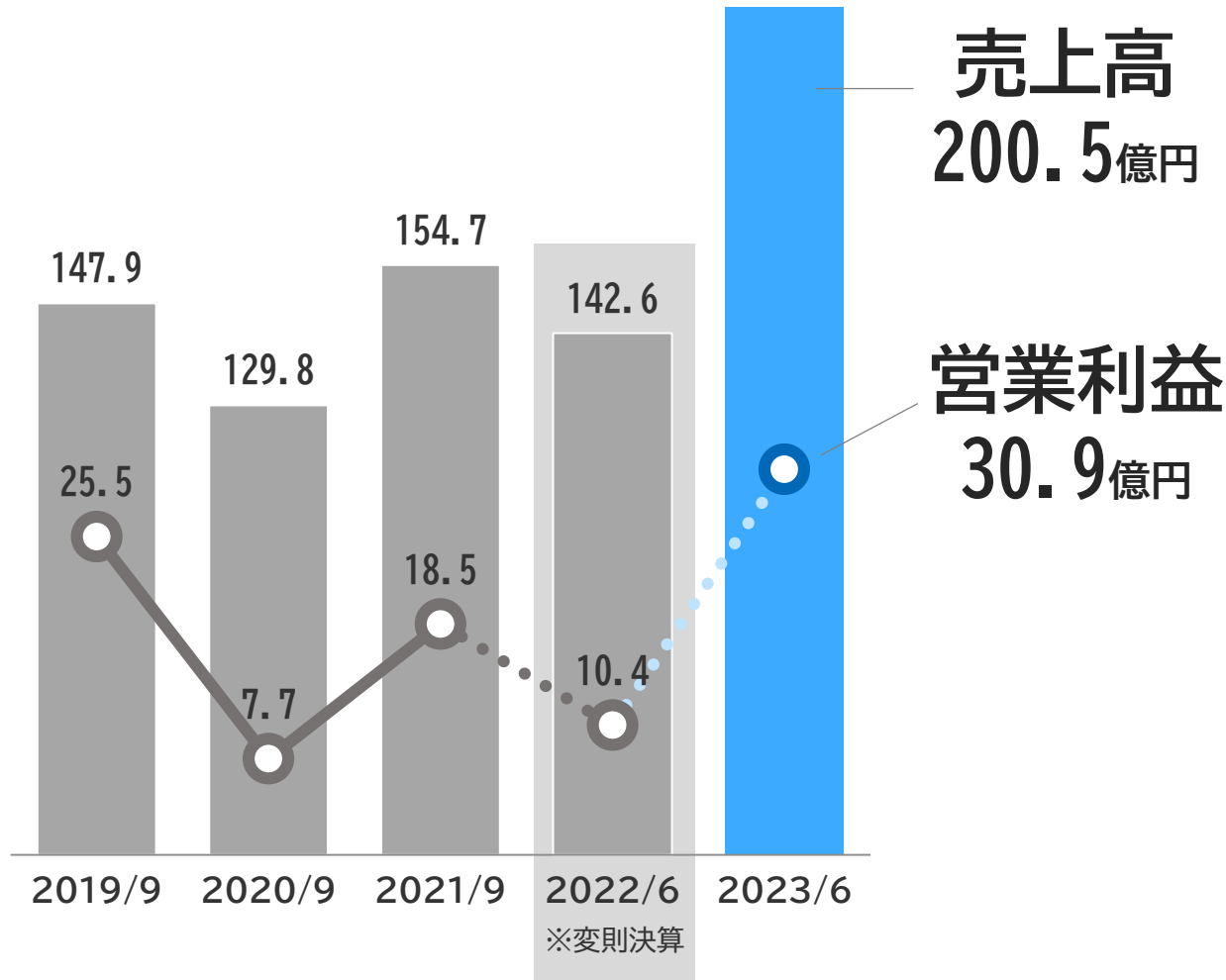
プラス要因

- 売上高、利益とも公共事業関連資材、農業関連資材が順調に推移した。
- 鳥獣害被害対策事業のスペック営業が順調に推移した。
- 前年にM&Aしたエスケー電気工業、セブンケミカルの業績が寄与した。

マイナス要因

- 公共事業関連資材のうち、盛土補強材については前年を上回ったものの、計画未達。
- 不織布事業において、マスクの落ち込み分をカバーできなかった。
- 海洋関係、防衛関係の案件落ち込みがあり未来テクノの売上高は低迷した。

セグメント別業績概況ーインダストリーインフラ事業



プラス要因

- BBS事業において、国内外ともOEMが好調に推移した。
- BBSドイツの業績は大型案件の寄与により順調に推移した。
- 未来コーセンでは値上げ効果により、下半期の業績は回復した。

マイナス要因

- 未来コーセンにおいて、電子部品の市況の低迷が続き、ワイピングクロスは計画比マイナスとなった。



3 2024年6月期 業績予想

2024年6月期業績見通しのポイント

◎全社

- ・新中期経営計画(4年間)の初年度として、**主要施策の浸透を図る**
- ・先期までの大規模設備投資の早期フル稼働による**生産体制の強化**
…製品の品質・良品率の安定化と生産効率向上による**利益の確保**

◎ソーシャルインフラ事業

- ・公共工事…再生エネルギー、国土強靱化製品等 **新分野への進出**
- ・各子会社…事業の拡大・強化、ネットワークの充実による**収益増強**

◎インダストリーインフラ事業

- ・BBS…国内外におけるホイールの大型化・次世代自動車向け製品の**企画・製造・販売強化**
- ・未来コーセン…値上げと原価低減に向けた**損益改善活動の定着**

◎その他

- ・継続した**M&Aの実践**による既存事業の強化と新規事業拡大
- ・資本コストを意識した**企業価値向上に向けた取組の実践**



業績予想(連結)

	2023年6月期 実績		2024年6月期 計画		
	2Q	通期	2Q	通期	増加率
売上高	244	502	270	530	5.6%
営業利益	39	84	46	90	6.0%
E B I T D A	54	116	61	123	5.3%
経常利益	39	86	46	90	3.6%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	27	52	30	59	12.2%

業績予想(セグメント別)

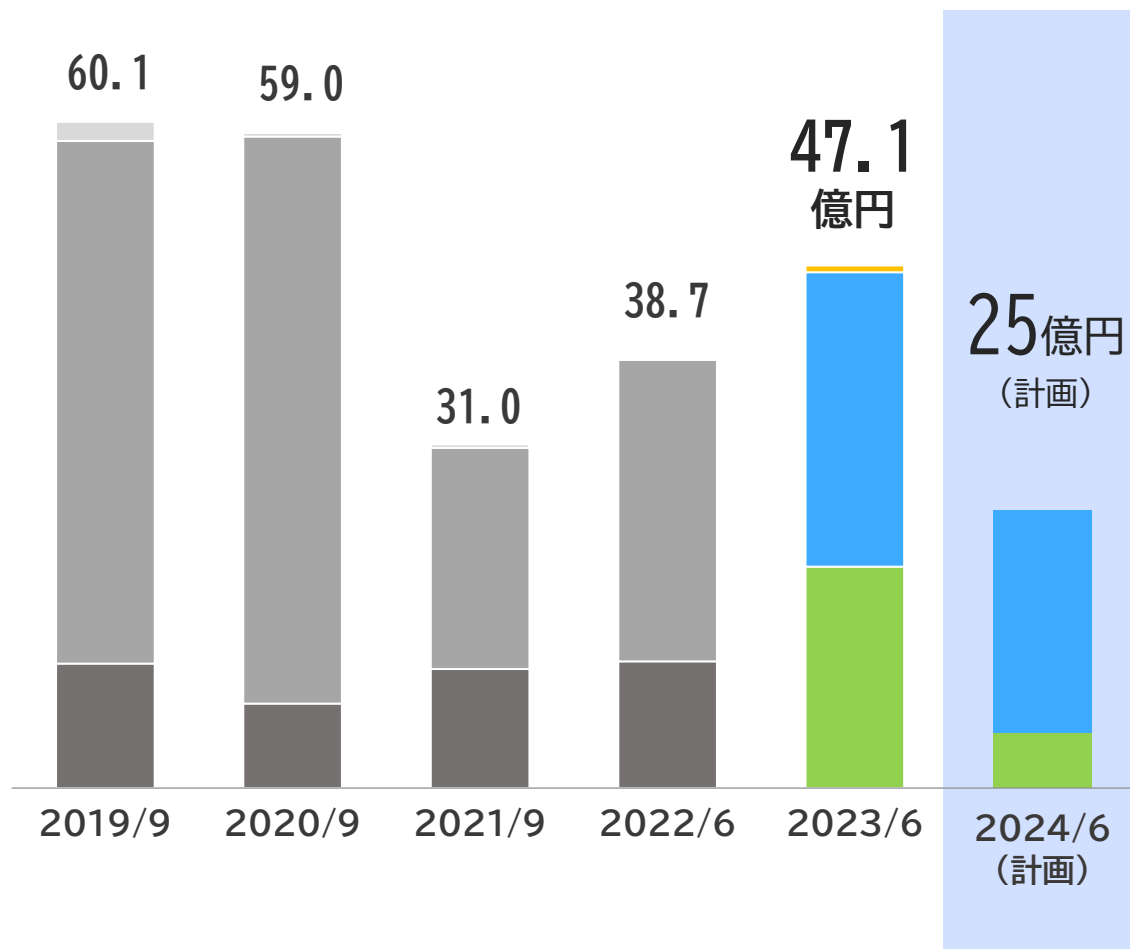
		2023年6月期 通期実績	2024年6月期	
			通期計画	増減率
ソーシャル インフラ事業	売上高	301	305	1.2%
	営業利益	64	64	—
インダストリー インフラ事業	売上高	200	225	12.2%
	営業利益	30	35	13.0%
全社・消去	営業利益	△ 10	△ 9	—
合計	売上高	502	530	5.6%
	営業利益	84	90	6.0%

設備投資額・減価償却費予想

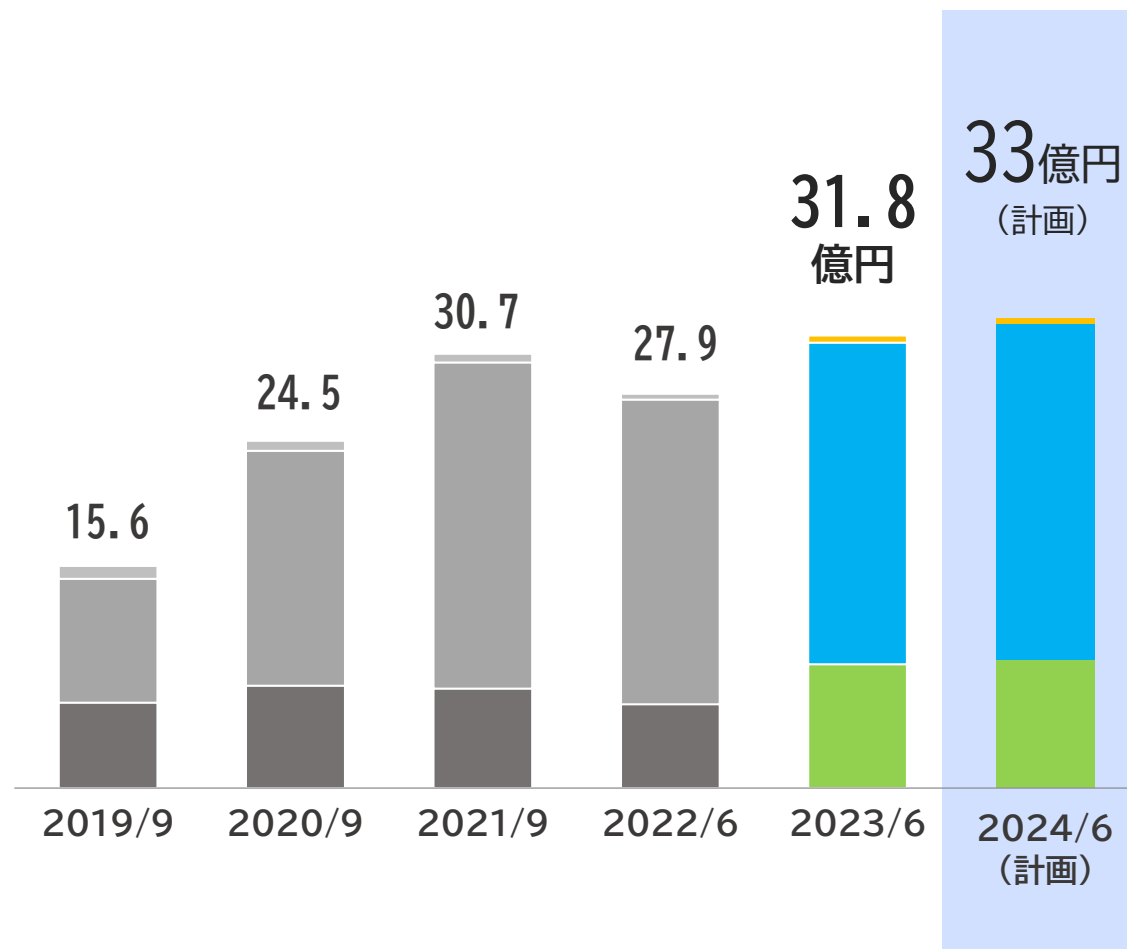
(単位:億円)

■ ソーシャル
■ インフラ事業
■ インダストリー
■ インフラ事業
■ 全社
■ 全社

設備投資額



減価償却費



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

TOPICS – 企業価値向上に向けた取組みの状況

1. TCFD提言に基づく情報開示

シナリオ分析を実施し、気候変動によるリスクおよび機会の当社グループにおける影響度を評価

⇒ サステナビリティ委員会で審議・決定、**情報開示**

2. マテリアリティの選定

国際的ガイドライン等を参考に課題を広く抽出

→ **マテリアリティマップ**を作成し重要度を評価

⇒ サステナビリティ委員会において決定

内容について**統合報告書**等で開示

MDKグループ中長期ビジョン

4

グローバルビジョン∞

- PART I -

グローバルビジョン∞ PART I 概要

計画期間

2020年9月期 ~ 2023年6月期

重点
施策

- 1 既存事業の強化と 新規事業進出
- 2 成長戦略としての M&A活用
- 3 新たなマーケットを求めるための
グローバルネットワーク拡充

※ 2023年7月期より
新中期経営計画「グローバルビジョン∞ -PART II-」スタート

グローバルビジョン∞ PART I 数値目標

- ① 決算期の変更による最終年度の数値目標は変更なし・・・ほぼ達成
- ② MDKメディカル株式会社の売却により、
ヒューマンインフラ事業のセグメント業績はなし

(単位:億円)

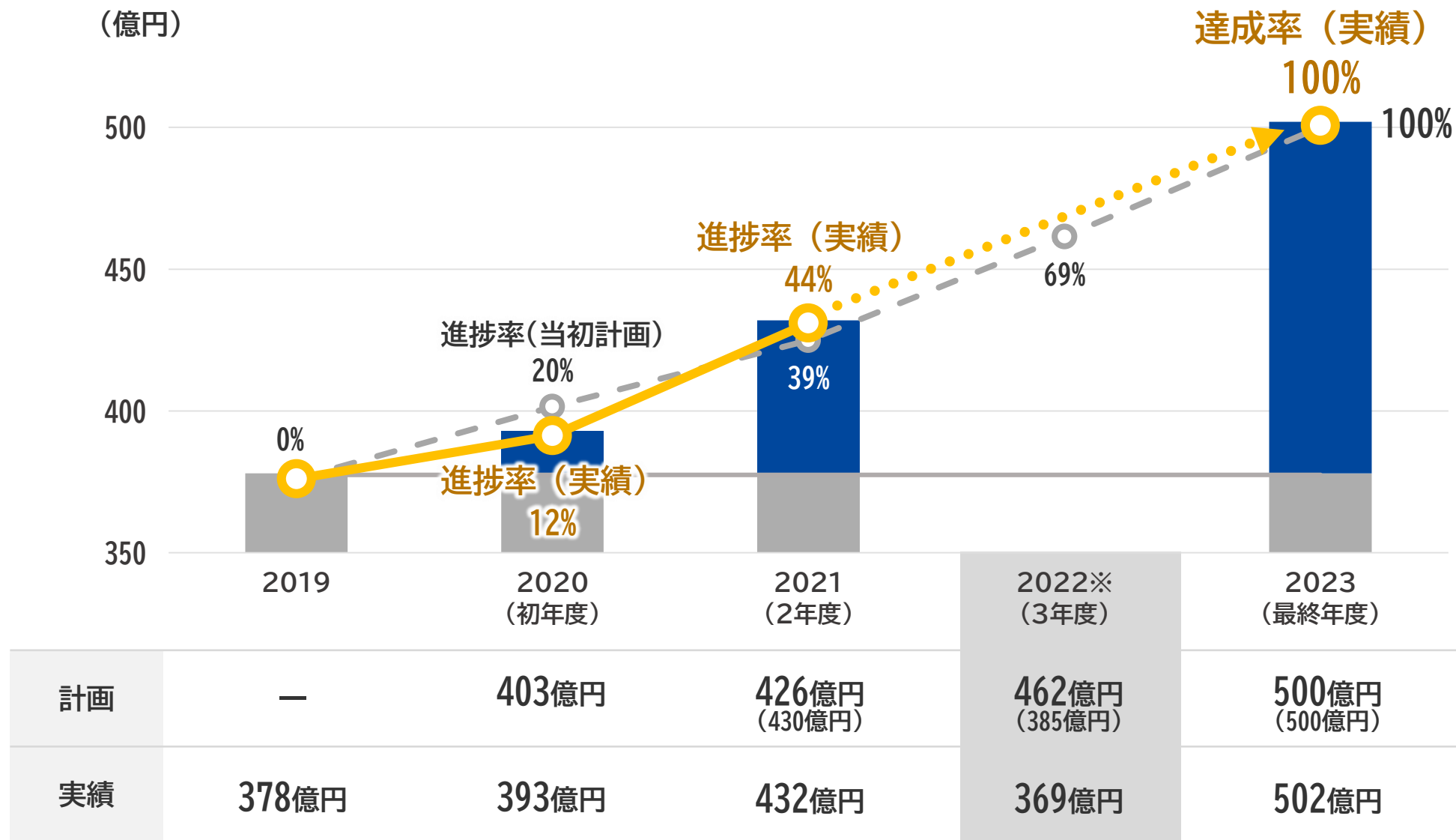
	2020/9期		2021/9期		2022/6期		2023/6期		達成 状況
	実績	(目標)	実績	(当初目標)	実績	(当初目標)	実績	(当初目標)	
売上高	393	(403)	432	(426)	369	(-)	502	(500)	◎
EBITDA	71	(71)	96	(76)	70	(-)	116	(100)	◎
営業利益	45	(45)	64	(50)	42	(-)	84	(80)	◎
経常利益	46	(45)	63	(50)	43	(-)	86	(80)	◎
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	(33)	45	(37)	34	(-)	52	(54)	△



※2022年6月期は、決算期変更により当初目標の12か月間から9か月10日間に変更しているため、当初目標については記載しておりません。

グローバルビジョン∞ PART I 売上進捗率

(億円)

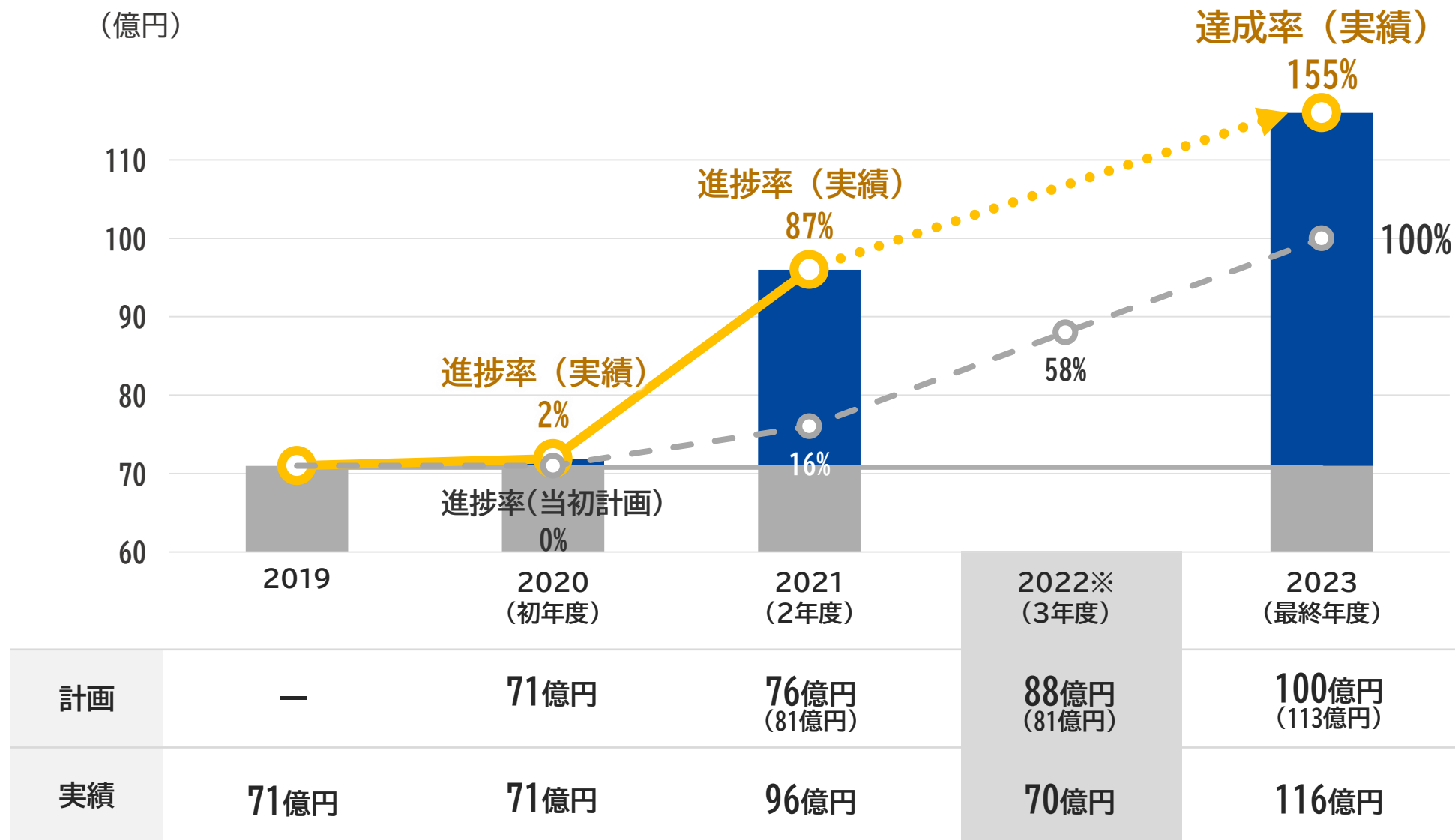


※()は変更後計画 ※2023年5月12日付で2023年6月期の通期業績予想を変更しております。
 ※2022年6月期は、決算期変更により当初目標の12か月間から9か月10日間に変更されております。



グローバルビジョン∞ PART I EBITDA進捗率

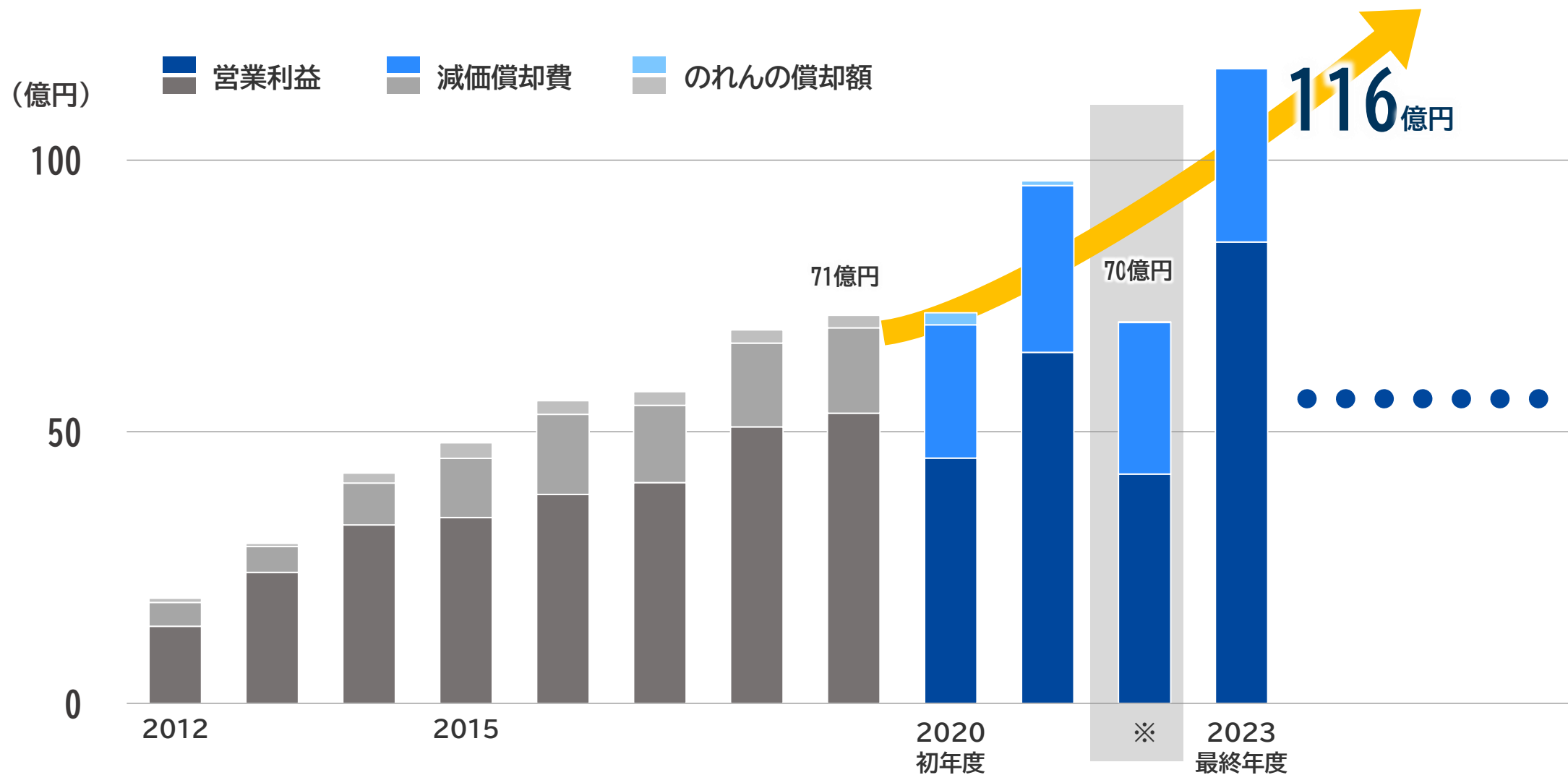
(億円)



※()は変更後計画 ※2023年5月12日付で2023年6月期の通期業績予想を変更しております。
 ※2022年6月期は、決算期変更により当初目標の12か月間から9か月10日間に変更されております。



グローバルビジョン∞ PART I EBITDA推移



※2022年6月期は、決算期変更により当初目標の12か月間から9か月10日間に変更されております。



5

会社概要

企業情報

(2023年6月30日現在)

会社名	前田工織株式会社		
本社	福井本社:福井県坂井市春江町沖布目38-3 東京本社:東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F		
代表者名	代表取締役会長 前田 征利 代表取締役社長 前田 尚宏		
創業	1918年	設立	1972年
決算	6月30日	資本金	3,472百万円
従業員数	1,575人(役員、嘱託・パート、実習生、派遣を含む)		
発行済株式数	32,260,200株 (うち自己株式 1,901,149株)		
証券コード	7821(東京証券取引所プライム市場)		
単元株数	100株	株主総数	3,248名



前田工織 は **混**ぜる会社です

「人」と「技術」を混ぜる会社です
混ぜると 化学反応が 起きるのです
「イノベーション」は化学反応の「果実」

世界一のイノベーターを目指し
社会のあるべき姿 人間のあるべき姿を
追い求めていきます

企業理念

基本理念

人と人との良いつながりが
すべての基本であり目標です。

経営理念

私たちは 独自の知恵と技術で
持続可能な地球 そして
安心・安全で豊かな社会を創るために
貢献してまいります。

行動理念 【MDK五徳】と【仁】

【知行合一】

1. 人も企業も「真っ直ぐ」生きよう。

義

2. 失敗を恐れず、無限[∞]の可能性に挑戦しよう。

勇

3. 現場へ出て、本質を見抜き、本気で変えよう。

信

4. どこにもないモノを、どこにもない方法で、創り出そう。

智

5. 人も企業も学び続けよう。

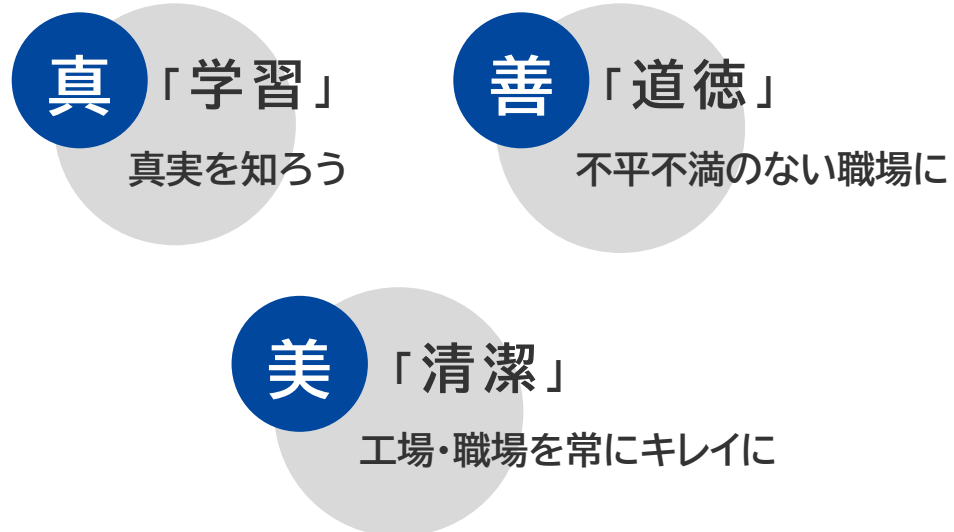
礼



行動指針・判断基準

行動指針

「真・善・美」の整った会社(組織)づくりへ

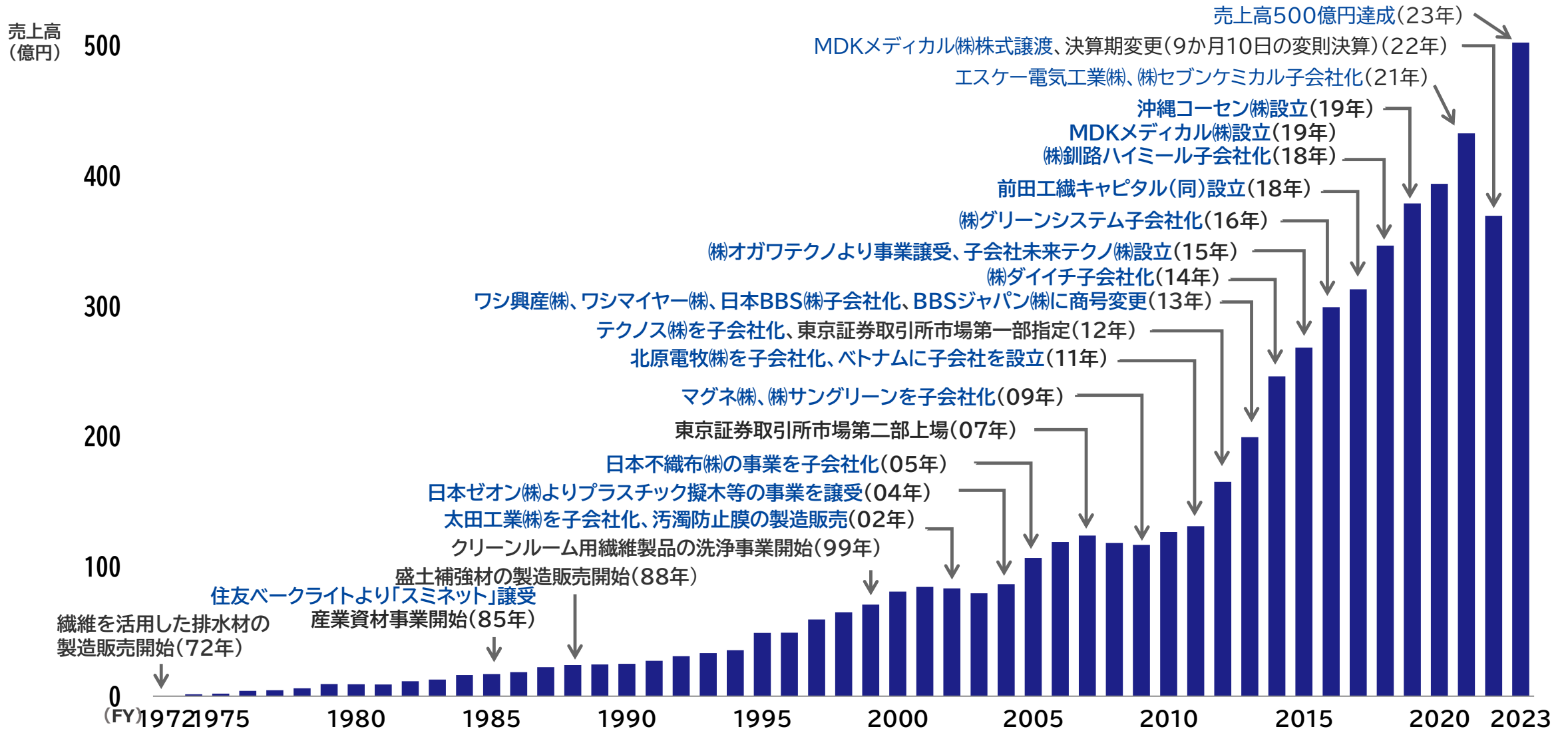


判断基準

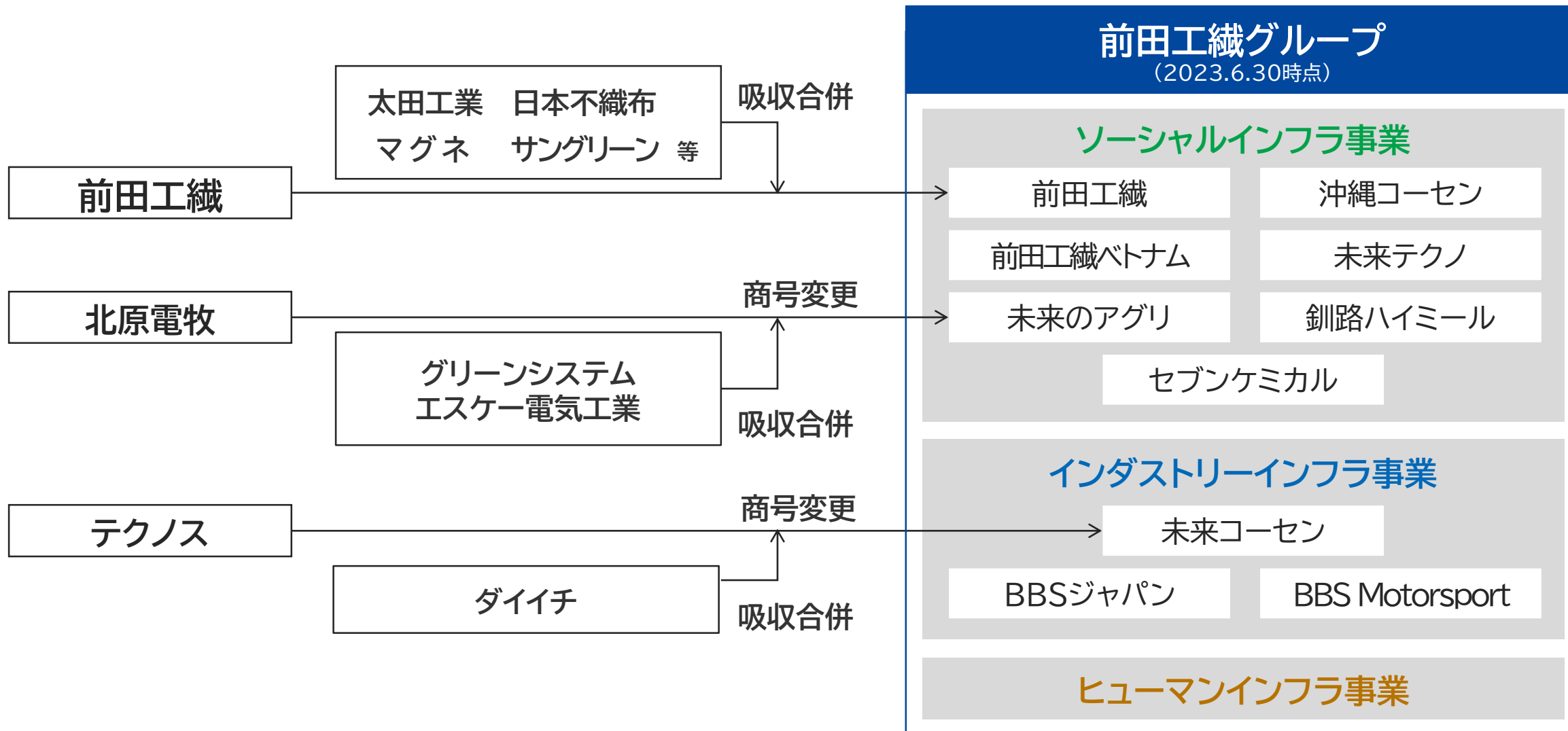
「SSLQDC」～この優先順位で判断・行動しよう～

- 1 Safety 人の安全と健康
- 2 Society 地域社会への貢献
- 3 Law コンプライアンス・法令順守・環境保全
- 4 Quality 品質・信頼性
- 5 Delivery 納期厳守
- 6 Cost コスト削減

事業沿革と売上高推移



前田工織グループの変遷



ネットワーク(国内)

前田工織(単体) 事業所:14拠点/工場:6ヶ所

福井県

福井本社・本社工場

丸岡工場
鯖江工場
坂井工場

未来コーセン
本社・福井工場
武生工場

北陸(福井除く)

新潟営業所
金沢営業所

BBSジャパン
本社・高岡工場
小矢部工場
四日市工場

未来コーセン(株)
金沢工場

中国・四国

広島支店
岡山事務所
四国支店

九州・沖縄

福岡支店
鹿児島事務所

沖縄コーセン

中部・近畿

名古屋支店
大阪支店
西宮工場
能登川工場

東北

仙台支店
盛岡営業所

未来テクノ 工場

未来のアグリ 福島本社

関東

東京本社

未来テクノ 東京本社

セブンケミカル
本社
埼玉工場

BBSジャパン 東京本社

前田工織キャピタル合同会社 東京本社

北海道

札幌支店

未来のアグリ

札幌本社
千歳工場
エスケー苫小牧営業所

釧路ハイミール 本社

● 事業所
■ 工場

ネットワーク(海外)



BBS Motorsport GmbH
BBSジャパン(株) ドイツ子会社



MAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.
(前田工織ベトナム有限会社)



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

前田工織株式会社 福井広報部

TEL:0776-51-9577 / URL:<https://www.maedakosen.jp>

